

2008年2月4日

記者各位

出光興産株式会社
株式会社コロナ

出光・コロナは、両社が共同開発した燃料処理装置を灯油型燃料電池システムに搭載するため東芝燃料電池システムへの技術協力を開始

出光興産株式会社(本社:東京都千代田区、社長:天坊昭彦、以下「出光」と)と株式会社コロナ(本社:新潟県三条市、社長:内田力、以下「コロナ」)は、両社が共同開発した燃料処理装置を東芝燃料電池システム株式会社(本社:東京都港区、社長:木村芳幸、以下「東芝燃料電池」)が2009年度以降に生産する市販灯油型燃料電池システムに搭載するため東芝燃料電池への技術協力を開始することで、本日合意しました。

出光とコロナは、灯油型燃料電池システム向けの*燃料処理装置の開発を2004年度から共同で進めてきました。このたび、東芝燃料電池より両社の燃料処理装置の性能が評価され、同社が2009年度以降に生産する市販灯油型燃料電池システムに同装置を搭載するための技術協力を開始することを本日合意しました。

*燃料から水素を作り出す装置。灯油から硫黄を除去する脱硫器、脱硫した灯油から水素を作り出す改質器から成る。

燃料処理装置の共同開発において、出光は市販灯油から水素を製造する技術を有し、コロナは灯油バーナー技術と量産技術を有しています。両社は双方の強みを活かして灯油用の同装置の商業化を進めており、今回の合意はその第一歩となります。

現在、燃料電池システムの普及に向けて、メーカーではコストダウンが大きな課題となっており、その解決策の一つとして、補機類を共有化する取り組みが進められています。出光とコロナでは、主要構成部である燃料処理装置についても共有化の範囲を広げるために同装置の採用を広く働きかけ、一層のコストダウンにつなげていきたいと考えています。

市販灯油型燃料電池システムの早期普及に向けて、2008年度からは東芝燃料電池によって同システムが石油元売各社に供給される予定です。今回の合意は、2009年度以降、同システムに出光・コロナの燃料処理装置を搭載することで、東芝燃料電池における商品化をさらに加速させるための取り組みとなります。



出光・コロナが開発した改質器

～ お問い合わせ先 ～

出光興産株式会社 広報室広報課(飯沼) TEL:03-3213-3115
株式会社コロナ 広報室(高橋) TEL:0256-32-2111